

整理番号	HT30105	分野	生物・医歯薬学	キーワード	細胞
------	---------	----	---------	-------	----

研究機関名	明治大学				
プログラム名	動物細胞を培養しよう				
先生(代表者)	浅賀 宏昭(あさが ひろあき) 明治大学商学部・教授				
自己紹介	私は生き物が好きで、いろいろな動物を飼っています。残念なことに大事に育てても動物は、いつか必ず死んでしまいますが、その体を構成している細胞はまだ生きていたりします。不思議ですね。生命って何でしょう。そんな動物細胞と一緒に培養して見てみましょう！				
開催日時・募集対象	平成30年 8月28日(火)～ 平成30年 8月29日(水)	受講 対象者	中学2・3年 生	募集 人数	
集合場所・時間	下記の開催会場に集まりください。(集合時間) 11:00 (第1日)				
開催会場	明治大学和泉キャンパス第一校舎地下1階006教室 住所: 〒168-8555 東京都杉並区永福 1-9-1 アクセスマップ URL: <a href="http://www.meiji.ac.jp/koho/campus_guide/izumi/access.html">http://www.meiji.ac.jp/koho/campus_guide/izumi/access.html</a>				
<b>内 容</b>					
<p>哺乳類の細胞であるマクロファージと線維芽細胞を生きた状態で維持して、それらの機能を観察するために培養実験を行います。このプログラムを通して、動物細胞に共通の特徴や2種類の細胞の機能的な違いを目で見えて理解することができます。</p> <p>まず、培養実験に不可欠な技術や無菌操作について説明します。次に、無菌操作を練習し、できるようになったら、クリーンベンチを用いて細胞をシャーレ等の容器へ播きます。この培養開始時の前後で位相差顕微鏡を用いて、形態の変化を観察します。次の日に、位相差顕微鏡を用いてマクロファージによる食作用や線維芽細胞によるコラーゲンゲルの収縮作用などを観察します。なお、線維芽細胞は、ノーベル賞を受賞された山中伸弥・京都大学教授が、iPS細胞を作製した際の材料とした細胞ですので、iPS細胞についてもこの講義で易しく解説したいと思います。</p>					
<b>スケジュール</b>			<b>持 ち 物</b>		
第1日目 ① 11:00 集合(場所: 第一校舎 006 教室) 受付 ② 11:15 開講式、科研費の説明、培養に関する説明 ③ 12:00 昼休み ④ 13:00 実験(途中でティータイム・休み時間あり) ⑤ 16:30 終了・解散			筆記用具。スマートフォンまたはデジタルカメラがあれば持ってきてください。 1日目のみ昼食が必要です。		
第2日目 ① 13:00 集合(場所: 第一校舎 006 教室) 受付 ② 13:15 実験(途中でティータイム・休み時間あり) ③ 14:55 細胞の機能についての説明 ④ 15:40 修了式(受講生にアンケートの記入・未来博士号授与) ⑤ 16:00 終了・解散			<b>特 記 事 項</b>		

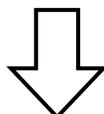
《お問合せ・お申込先》

所属・氏名：	明治大学 研究知財事務室・菅原 悠(すがわら ゆう)
住所：	〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台 1-1
TEL 番号：	03-3296-4398 当日連絡先:03-5300-1451
FAX 番号：	03-3296-4283
E-mail：	kaken@mics.meiji.ac.jp (お申し込みは、日本学術振興会の Web からお願いします。) <a href="https://www.jsps.go.jp/hirameki/06_sanka.html">https://www.jsps.go.jp/hirameki/06_sanka.html</a>
申込締切日：	平成30年7月3日(火)

※当プログラムは定員を超えた場合は申込締切日後に抽選を行い、7月6日(金)までに郵便(またはメール)にて全員にご連絡します。

《プログラムと関係する先生(代表者)の科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
浅賀 宏昭	2016/04 ~ 2019/03	基盤研究 (C)	16K01037	科学リテラシーを涵養するための 動物細胞の培養技術の検討



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。